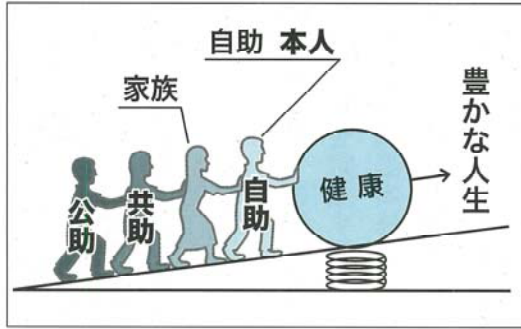


## 保健福祉委員会

保健福祉委員会より、平成22年第3回定例会において継続調査の許可を得ました、事務調査第3号「高齢者福祉について」の調査の経過について報告いたします。

本委員会は、担当部局より調査に係る資料の提出と説明を求め、特に介護保険制度に基づく在宅介護、通所介護と本市単独の高齢者福祉事業に関して調査を進めてきたところです。

これらの高齢者事業は、人的サービスや金銭サービスの給付であり、各種制度に基づいて実



自助・共助・公助の概念図

施されているものです。

今後は、先に述べた給付に関するものに加え、介護をしている家族の実態や老人クラブの実態など、高齢者福祉に関し総合的にさらに調査を深めたいことから、今回は中間報告とし、継続調査とすることにいたしました。

## 保健福祉委員会

## 都市事例調査報告

## ■高齢者福祉について

岐阜県本巣市、郡上市とそれぞれ市単独の高齢者福祉サービス事業を主に調査を行いました。両市とも旧町村の合併により平成16年に誕生しています。

本巣市は、県南西部のほぼ中央から北端に位置し分庁舎方式の行政執行がされています。特徴的なことは、今回説明を受けた「健康福祉部」に属する課の名称は、「福祉敬愛課」「こども

大切課」と、名は体を表すかのごとくこれは合併当時の市長の思いから決定されたものです。

各種事業は18に及び、「理髪サービス・寝具消毒乾燥事業」等利用率は低いものの地域の特性

の中では必要なものと推察されます。在宅介護を促す事業展開も積極的で「介護慰労金支給・友愛訪問活動事業・長寿者褒賞制度」は、老人クラブへの委託事業で手土産持参で独居老人宅の訪問を容易にし、地域コミュニティの促進面からも重要な役割を果たしています。「根尾生活支援ハウス」は小規模多機能施設であり、本巣市社会福祉協議会が運営し定員10名で夫婦世帯でも入居可となっています。

郡上市は、県のほぼ中央に位置し市の30%が森林で、美しい自然景観と歴史の調和のとれたまちとして発展を続けています。高齢化率が30・8%と高く、16の事業がありサービス内容によつては、事業所の偏在により地域の限定があります。

平成18年には、健康福祉推進計画が5年を計画期間として策定されました。

基本理念は、「みんなで創り、みんなで育む、安心して暮らし続けられるまち郡上」とうたっています。策定には市民・職員が自らの手で携わり、進むべき方向を自らで示しています。



本巣市にて

実態調査では、あらゆる立場の市民から聞き取り調査を行い、それを基に12,930人を対象にアンケートが実施され、回収数は11,333人で87・6%と非常に回収率も高く、把握された情報が分析され、取組むべき行動の資料として推進計画に活用されています。

この理念から、設立の経緯は様々ですが社会福祉協議会が設立後3年間で5万円の補助を行い、ふれあい・いきいきサロンが市内107カ所で開催され、自主運営により高齢者の憩いの場として機能しています。

いずれの市も精力的に各種事業に取り組んでいます。今後において財源の硬直化が懸念されるということです。